

えんじゅ

令和3年10月1日発行

松原小学校 N10

** 当面の主な行事予定 **

【 令和3年度 10月 】

- 1 (金) タブレット持ち帰り
- 4 (月) 更衣移行期間開始
- 6 (水) 運動会総練習
- 9 (土) 運動会
- 11 (月) 振替休日
- 12 (火) 弁当昼食の日
- 13 (水) 県学習到達度調査
(4・5年生)
ノーメディアデー
- 14 (木) 就学児健診
- 18 (月) 完全更衣
- 19 (火) キッズサポート教室
(2・5年生)
- 22 (金) 臨海学校(5年生)

** 当面の主な行事予定 **

【 令和3年度 11月 】

- 1 (月) セーフティネット
- 4 (木) 中学校体験入学
(6年生)
- 5 (金) タブレット持ち帰り
- 10 (水) ちちろこ会奉仕作業
- 23 (火) 勤労感謝の日

研究授業

～9月21・24日～

8月末から実習している2人が1・4年生それぞれの学級で研究授業に挑みました。

1年生では長さの授業。子供達は「どちらが長いか」ということをノートや筆箱を利用するなど色々な物差しを使いながら比べていました。

4年生では割り算の授業。2けたでわる筆算の方法をデジタル教科書を活用しながら学習していました。

1年生・4年生ともに子供達は意欲的に授業に臨んでいました。教育実習生の2人にとっては素敵

な授業体験になったことと思います。



学びの楽しさ ～レベルアップを～

ある雑誌に次のような記事がありました。「子供達が主体的に学ぼうとするのは、どのような時であるのか?」と。その結論は「知りたい、分かってほしい、できるようになりたい、仲間と意見を交わしたいといった『学びに対する欲求が生じるとき』であると。更に、学びに対する欲求が生じるときには、『学びに対する楽しさも感じている』と。

教育の世界では当たり前のこととして受け入れられている意見であるような気がしますが、普段の教育活動の中ではややもするとその意識が希薄になりがちになっているかも知れません。

学校としては、子供達が学びの楽しさを感じることができるよう、また学びの楽しさを感じ続けることができるように日々の授業のレベルアップに挑んでいきたいものです。

稲刈り ～9月21日～

雨天延期となっていた稲刈りがようやくできました。台風の通過で生育が心配されましたが、6月に植えた苗はすくすくと丈夫に育っていました。



今回も田井地区の田端さんに指導していただきました。稲の切り方を指導および実演

していただいた後、子供達は稲刈りを始めました。のこぎり鎌を使用するのは初めての子供が多く手間取る様子が伺えましたが何回か試行錯誤している内に慣れてくる子供も増えてきたように思います。刈り取った稲はもみの部分をそろえて並べ、コンバインでもみとそれ以外の部分に分けていきました。最後にはコンバインに収納したもみを軽トラックに積み込みました。5年生が収穫したもみは軽トラックに積んでいた袋一杯になりました。

今回も普段の生活ではなかなか出来ない体験をさせていただきました。今後の社会科や総合的な学習の時間の学習に生かし、稲刈り体験を、確かな経験へと昇華させたいものです。

修学旅行 ～9月27・28日～

台風接近に伴う天候不順が心配されましたが何とか2日間の日程をこなすことができました。6年生にとっては1番と言ってよい程の重要な行事であっただけにほっとしたところです。

1日目は串本町の大島から見学を開始しました。小雨の中トルコ記念館の外観を見たり灯台に上ったりしました。また午後からは熊野古道を歩きました。大門坂から那智大社まではかなりの坂道でしたが古来から脈々と引き継がれてきている道を歩くことによって昔の人々の気持ちを少しは感じることができたのではないのでしょうか。



2日目は古座川でのカヌー体験から始めました。昨年度は臨海学校が中止となったこともありほとんどの子供はカヌー初体験であったと思いますがインストラクターからのていねいな指導と子供達の主体的な態度によりほとんどの子供達がカヌーを操ることができるようになりました。午後からはアドベンチャーワールドで班ごとに活動を楽しみました。

2日間で学んだことを後半の学習に生かしてほしいと思います。